



— 記者発表資料 —

圏央道 茨城県区間

平成29年2月26日(日)に全線開通

(境古河 IC ~ つくば中央 IC 28. 5 km)

《開通により期待されるストック効果※1》

【成田空港から関東各地の観光地へのアクセスが向上】

○成田空港から日光・那須、富岡製糸場、川越などの観光地への
アクセスが向上。観光周遊の促進が期待。

【沿線の大型物流施設 約1, 600件、生産性向上が加速】

○圏央道(東名高速~東関東道)沿線に立地する大型物流施設約1, 600件
において、生産性向上が加速する可能性
○茨城県は、工場立地件数3年連続全国第1位
区画整理事業等の取組も進んでおり、更なる企業立地に期待！

《開通区間の概要※2》

【開通区間】 境古河IC(茨城県猿島郡境町) ~ つくば中央IC(茨城県つくば市)

【延長】 28. 5km

【開通 IC】 坂東IC、常総IC

【車線数】 暫定2車線

※1:ストック効果:整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果

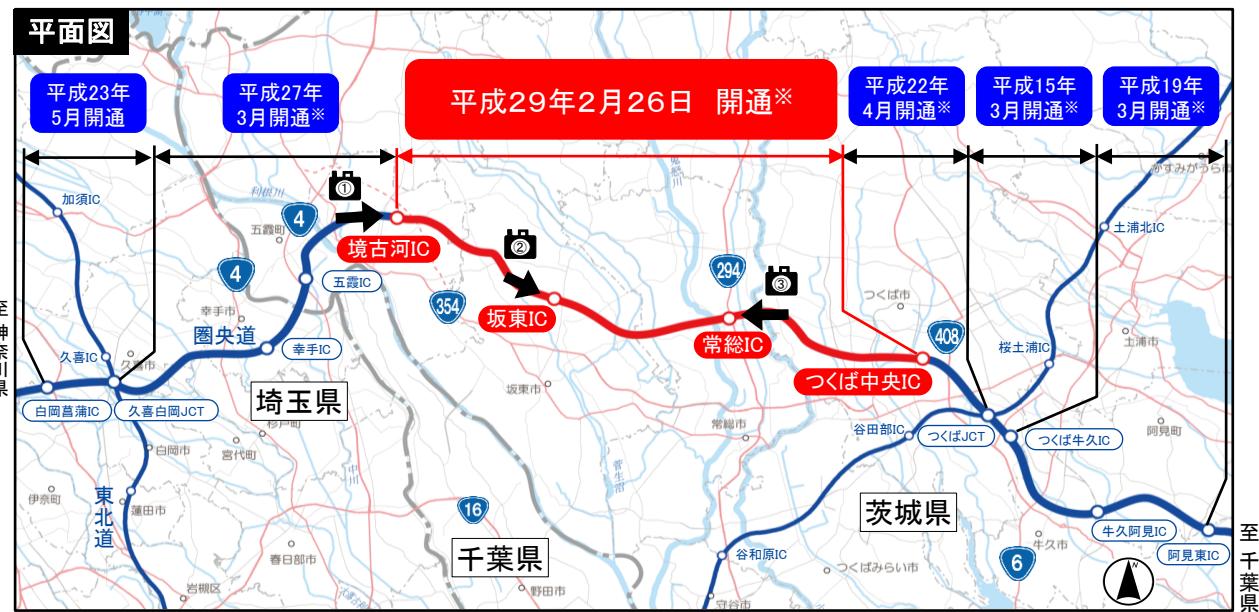
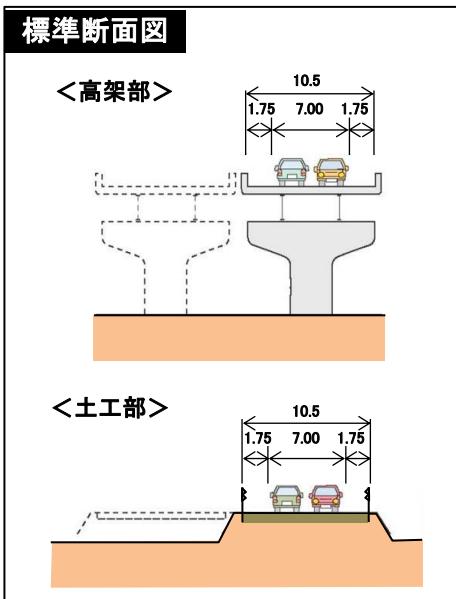
※2:開通時刻及び開通式典等の概要については後日お知らせいたします。

圏央道開通区間概要

○今回の開通により、東名高速から東関東道の6つの放射道路が接続

■今回開通区間の概要

- 開通区間：境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)～つくば中央IC(茨城県つくば市新井)
○開通日：平成29年2月26日
○延長：28.5km
○開通IC：坂東IC、常総IC
○車線数：暫定2車線



成田空港から関東各地の観光地へのアクセスが向上

- 成田空港から日光・那須、富岡製糸場、川越などの観光地へのアクセスが向上
観光周遊の促進が期待。
- 成田空港からの外国人観光客や茨城県、千葉県からの来訪者の増加を期待しているという声も



地元の声

(富岡市世界遺産部観光おもてなし課)
これまでの圏央道の開通で神奈川方面とのアクセスが向上し、首都圏からの観光客が増えました。
境古河～つくば中央間の開通で、成田空港からの外国人観光客や茨城県、千葉県からの来訪者の
増加を期待しています。

出典)平成28年11月 ヒアリング調査

沿線の大型物流施設 約1,600件、生産性向上が加速

- 圏央道(東名高速～東関東道)沿線に立地する大型物流施設 約1,600件において、生産性向上が加速する可能性
- 茨城県は、工場立地件数3年連続全国第1位(平成25年から平成27年)区画整理事業等の取組も進んでおり、更なる企業立地に期待!

圏央道沿線自治体※1の大型物流施設※2立地状況



茨城県内の圏央道周辺市町村※4の土地区画整理事業※5



※1: 圏央道(海老名JCT～大栄JCT)が通過する37市町。

※2: 小中企業基本法に基づく「小規模企業者(概ね常時使用する従業員の数が20人以下の事業者)」を除く

※3: H26年の経済センサスの産業分類(中分類)の「道路旅客運送業」「道路貨物運送業」「倉庫業」「運輸に附帯するサービス業」の合計

※4: 古河市、五霞町、境町、坂東市、常総市、つくば市、土浦市、阿見町、牛久市、龍ヶ崎市、美浦村、河内町、稻敷市(茨城県圏央道産業コンプレックス基本計画※6の集積区域)

※5: 住宅地形成、駅前市街地形成を目的とした土地区画整理事業を除く

※6: 茨城県圏央道沿線地域産業・交流活性化協議会※7が圏央道の開通を契機に、企業立地の促進等により産業集積地を形成、沿線地域の活性化を図るため、平成20年3月に策定した計画

※7: 茨城県と県内の圏央道沿線13市町村(土浦市、古河市、龍ヶ崎市、常総市、牛久市、つくば市、坂東市、稻敷市、美浦村、阿見町、河内町、五霞町、境町)及び大学、研究機関、商工会等によって構成

成田空港から湘南まで都心を経由せずに直結

○都心経由に比べ、渋滞のリスク減少、時間短縮などにより、

成田空港から秩父・長瀞までのアクセスが向上

例) 成田空港から秩父・長瀞までの所要時間が最大20分短縮※3
(新空港IC → 花園IC : 135分 → 115分)

ルートを圏央道経由に変更することを検討しているバス会社も

より多くのルートが選択可能となり、渋滞や事故等による通行止めを回避

新空港IC⇒花園IC間の所要時間の変化



圏央道へのルート変更を検討している主な高速バス会社

- ・千葉交通株式会社（千葉県）
 - ・関越交通株式会社（群馬県）
 - ・関東自動車株式会社（栃木県）

高速バス会社の声

圏央道（境古河～つくば中央）の開通により、時間短縮、定時性の向上が期待されるため、圏央道経由へのルート変更も将来的に視野に入れています。

また、時間短縮により利用者の増加にも期待しています。

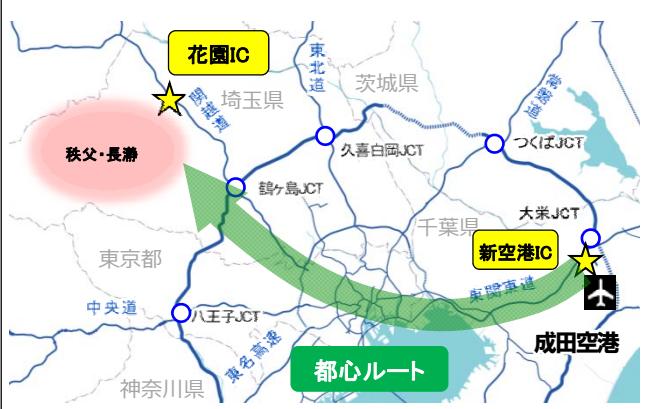
〔関越交通株式会社〕

出典:平成28年11月ヒアリング

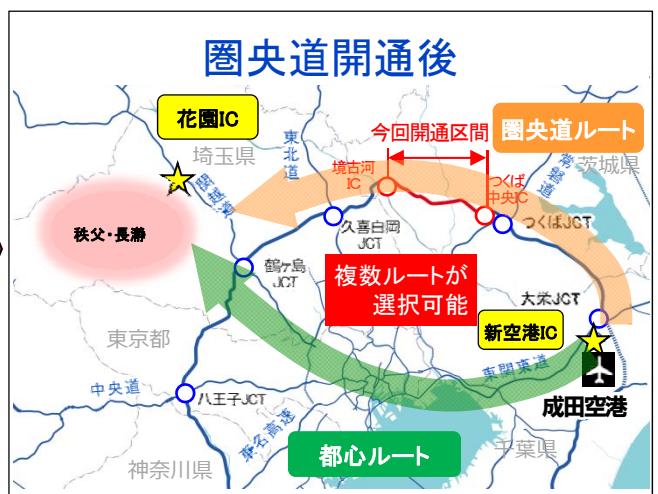
成田空港⇒秩父・長瀞までのルート

圏央道のネットワーク化により成田空港(新空港IC)から秩父・長瀞(花園IC)のルート選択が可能。渋滞や事故等による通行止めを回避。

前通開道央卷

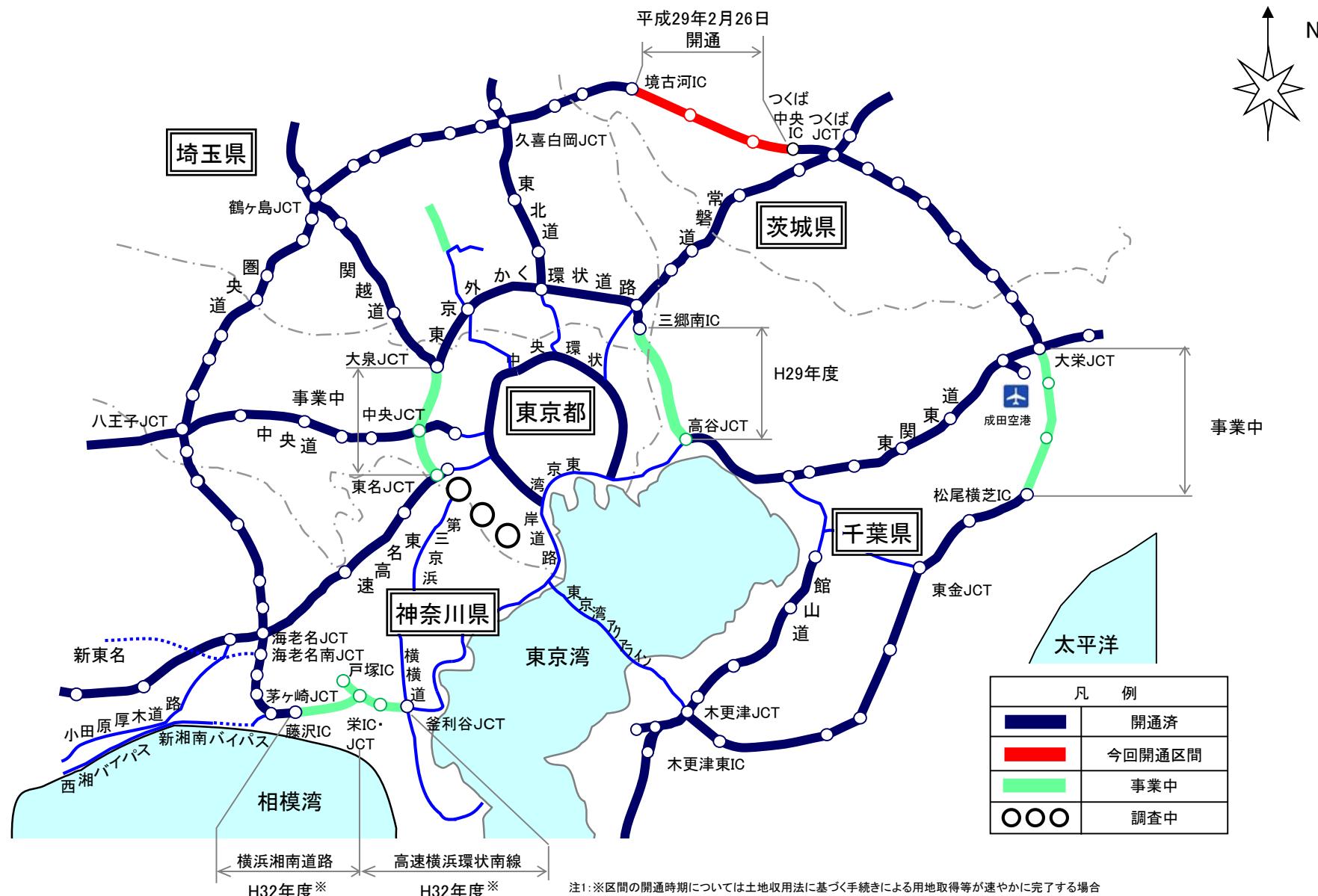


卷央道開通後



※3: プローブデータ(平成28年4月1日～平成28年10月31日)から算出した7時台及び8時台の平均旅行時間
(未開通区間は隣接区間の規制速度で走行と仮定)

【参考】首都圏3環状道路の整備状況



注1:※区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

注2:久喜白岡JCT~木更津東IC間は、暫定2車線

注3:開通区間以外のIC、JCTは仮称(但し、圏央道の坂東IC、常総IC、外環道の松戸IC、市川北IC、市川中央IC、市川南ICは決定)

【参考】今回開通区間等の料金

■今回開通する区間の通行料金

通常料金

境古河IC		坂東IC		常総IC		つくば中央IC	
軽自動車等	270						
普通車	330						
中型車	400	坂東IC					
大型車	550						
特大車	920						
軽自動車等	530	軽自動車等	260				
普通車	660	普通車	330				
中型車	790	中型車	390	常総IC			
大型車	1,090	大型車	540				
特大車	1,740	特大車	900				
軽自動車等	840	軽自動車等	570	軽自動車等	310		
普通車	1,050	普通車	710	普通車	390		
中型車	1,250	中型車	850	中型車	460	つくば中央IC	
大型車	1,660	大型車	1,180	大型車	640		
特大車	2,660	特大車	1,860	特大車	1,060		

■主要ICまでの通行料金

	境古河IC	坂東IC	常総IC	つくば中央IC
新空港IC (新空港道)	軽自動車等	2,230	軽自動車等	2,000
	普通車	2,750	普通車	2,460
	中型車	3,270	中型車	2,920
	大型車	4,430	大型車	3,950
	特大車	7,280	特大車	6,480
三郷IC (常磐道)	軽自動車等	1,870	軽自動車等	1,630
	普通車	2,290	普通車	2,000
	中型車	2,710	中型車	2,370
	大型車	3,670	大型車	3,190
	特大車	6,010	特大車	5,210
浦和本線料金所 (東北道)	軽自動車等	1,280	軽自動車等	1,510
	普通車	1,550	普通車	1,850
	中型車	1,830	中型車	2,180
	大型車	2,460	大型車	2,940
	特大車	3,990	特大車	4,790
厚木IC (東名)	軽自動車等	3,150	軽自動車等	3,380
	普通車	3,900	普通車	4,190
	中型車	4,650	中型車	4,990
	大型車	6,320	大型車	6,800
	特大車	10,430	特大車	11,230

	川越IC (関越道)	東松山IC (関越道)	花園IC (関越道)	久喜IC (東北道)
新空港IC (新空港道)	軽自動車等	3,540	軽自動車等	3,670
	普通車	4,390	普通車	4,540
	中型車	5,230	中型車	5,420
	大型車	7,140	大型車	7,400
	特大車	11,690	特大車	12,130

○ETC時間帯割引

今回開通する「境古河IC～つくば中央IC」には、以下のETC時間帯割引が適用になります。

割引名称	主な内容
深夜割引	0時～4時の間に通行 30%割引
休日割引	軽自動車等および普通車が対象 土日・祝日に通行 30%割引

※ ETC時間帯割引の適用条件等の詳細については、NEXCO東日本のホームページ「ドラぷら」をご確認ください。

「PC」<http://www.driveplaza.com/>

「携帯」<http://m.driveplaza.com/>